

【参加者の感想】

小4 女子

私は、最初に熊野古道を13kmくらい歩いた時に「明日も13kmくらい歩くの?」と思っていましたが、13kmくらいは友達と「べちゃくちゃ」しゃべるとけば、あっという間に1kmまた1kmと過ぎていて楽しく歩けました。でも夜、温泉に入ると、足にどっと痛みがきました。1日目は、移動だけで筋肉痛になりましたが、2日目、3日目、4日目、5日目は、筋肉痛になりませんでした。私は、体がなれたんだなと思いました。次にビックリした事は、1つあります。1つ目は、熊野古道で食べられる葉があったことです。味は、ほどよいスッパさでした。なので、山のレモンと呼んでいました。

小5 女子

熊野古道は、思ったより厳しくって、ヒーヒー言いながら登り下りました。でもヨッシーさんのお話を聞くと「また頑張ろう。」って気持ちが変わってきました。なんだかヨッシーさんに神様が宿っているような気がして不思議でした。そう思ったのもつかの間、またきつくなっていき、そしてまた、ヨッシーさんの不思議なオーラにいやされる登山でした。民宿ではと言うと「こわいー」とか「うあー」とかの連続です。まあとにかく、うかれていました。私は、なぜ元気なのか?今、わかった気がします。そう、ヨッシーさんが、励ましてくれて、それをむねに、頑張る事ができたからだと思います。熊野の神様が、それに応えるように“力”をくれたのではないのでしょうか?もっぱらトイレに行くときは、みんなで「帰らないでよー」とかなんとか言って、げっそりしてしまいましたが…。今回、私が得られたものは、何かまだわかりません。でもそれは、勉強にもスポーツにも活かせる事ではないと思います。そう“生きるため”に、“生きていることを考えるため”に必要な物だと思いました。最後に引率のリーダーさん、ヨッシーさん、熊野の神様、本当にありがとうございました。

小5 女子

私が、熊野古道の野宿体験に参加した理由は、お母さんが「この野宿体験やってみない?」と言ってくれた事です。私は、野宿体験はやった事がなくて、楽しそうだったので、「やりたい」と言いました。1日目は、お母さんと東京駅まで行きました。東京駅で、小4の響ちゃんと、小5の風香ちゃんと小6の彩夏ちゃんに会いました。その後、新幹線で和歌山県へ向かいました。私は、新幹線で、彩夏ちゃんのとりの席になって、いっしょにおしゃべりをしました。大阪では、3人加わりました。2日目は、熊野古道を登りはじめました。この日は、宿でした。3日目は、昨日の続きの熊野古道を登りました。この日は、テントをはって、女子はテントでねました。4日目は、熊野古道を最後まで登りました。うれしかったです。この日は、ホテルでした。温泉もはいました。5日目は、小山に帰りました。この旅で、私が思った事は、旅をしていると、いろいろな人に出会い、楽しめるということです。また、やりたいです。

小6 女子

最初は、不安がたくさんあったけど、最後は、みんなと笑顔で別れる事ができてよかった。道を歩いている間に、話を聞いたり、「ハッピートランペット」をふいたり、やまびこをしたりして、面白かった。雨が降った日もあったが、それもまた、昔の人の体験になったと思う。今回、参加して良かったなと思った。

中3 男子

今回、一緒に参加してくださったメンバーやリーダー、語りべの方々、本当にありがとうございました。野宿の旅も、もう4度目の参加となりました。今回は、初の語りべさん付で、しかも聞くまで知らなかった熊野古道での野宿の旅となりました。荷物は少なかったのですが、何と言っても距離が長く、しかも山道と言う、なかなかの試練を越えてくることができました。苦しかった分、やっぱり達成感がとても大きかったです。歴史や地理が、大嫌いで仕方なかった僕ですが、旅の最中で聞いた色々なお話から、強く歴史に対しての印象が変わりました。いつもテストが近づくと、「暗記しなきゃ」と頭に叩き込んで、

正直、点を取るためだけの勉強でした。歴史で出た人物なんて、ただの「単語」にすぎませんでした。でも今回の旅で、語りべさんのお話を聞いて、自分のやり方や、歴史に対する思いが、がらっと変わりました。熊野古道には、多くの寺院、神社があり、多くの有名な歴史的人物が出てきます。その一つ一つの寺社や人物に、とてもおもしろい話が、いくつもあり、それらを聞くだけで、それら寺院や人物が直ぐに頭に入り、今でも覚えています。歴史なんて、この日本や世界で起こった昔話に過ぎません。一つ一つを「単語」としてではなく、「物事」として考えれば、覚える事は簡単で、なおかつ、それらは、とても面白い物ばかりです。なんで今さら気づいたんだ？と思いますが、僕にとって嫌いでしかたなかった事が、一瞬で好きになれた革命です。そんな新しい見方を教えてくれた語りべのヨッシーさんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今回の旅は、自分にとって本当に良い経験になりました。いつかまた、熊野古道に来た時に、「おれは、ここで変わったんだ」と言えるように、今から今回の経験を活かして、変わっていかうと思います。本当にありがとうございました。

高1 ジュニア 男子

僕は、野宿の旅で、初めて和歌山を訪れ、熊野古道を歩きました。リーダー達とも沢山話せたり、語りべのヨッシーさんのお話も面白く、参考になりました。とても楽しくて内容の濃い4日間でした。また、機会があれば参加させていただきたいです。

【保護者の方の感想】

上の子がヨロン島から戻った際は、1週間ぐらい東北訛りがぬけませんでした。（同じチームの日本人の子が、全て北からの参加）今回は、広島訛りで娘が戻って来たので、上の子と同様、貴重な体験もさることながら、濃厚な時間を初めてのお友達と過ごす事が出来たのだなああと分かりました。家族での行動では、いつも一番下の娘に体力面など、合わせて計画を立ててしまったり、娘もすぐ父親に甘えがちですが、4泊5日の間、自分で自分を律して、他人と協調して過ごすという事が何よりの経験です。週3~4回、スポーツの練習があり、なかなかスケジュールがあいませんが、こまめにチェックして是非、別のプログラムにも…と考えています。引率ありがとうございました。

いつもお世話になっております。KSKKの事業には、何度目かの参加です。「熊野古道」は、チョット濃い内容だったので、どうかな？とも思いましたが、楽しみにしていた冬の北海道に人数不足で行けなかった事もあったため、今回も即答で「行かせて！！」とのことでした。回を重ねるごとに培った経験で、日常生活の様々なことのMAX度が高くなり、あれだけ言っていた“暑い、寒い、重い、遠い、めんどい、しんどいetc”を、めったに聞かなくなった今日この頃。代わりに私がぐーぐー文句を言っていたしなめられています。今は、以前参加した中で得た目標に向けて、頑張っている途中。ですが、そこはまだまだ少女期真っ只中の娘。背伸びをして、甘えて、わけもなくイライラして、優等生モードになって、迷って…。いろいろな顔を見せてくれています。そんな彼女の自分の足で踏み出す力の基になっている協会のキャンプに、また機会がありましたら参加させたいと思っております。

本当に楽しい時間を過ごしてきた様です。参加人数が少なかったため、その分、皆一人一人と深くかわる事が出来たのも良かったです。時期が時期なので難しいとは思いますが、電車の席は、まとまって座れた方が良かったですね。それから、アンケートも最終日の夜に、時間を作って書かせた方が良いと思います。家に帰って3日も経つと楽しかった記憶も薄れてくるようです。また、小笠原にも行きたいと申しております。検討している所ですが、参加が決まった際には、宜しく願います。スタッフの皆さん、ありがとうございました。

5日間、たいへんお世話になりました。貴重な体験をありがとうございました。今までに色々なプログラムに参加させて頂いておりますが「一番面白いのが、野宿の旅」だと言って、今回も迷わず参加を決めました。歴史や神話にも、山歩きにも興味を示さない子だったので、大丈夫かなあと心配しながら送り出しました。帰って来てからの感想は「歴史はちゃんと勉強していなかったから、分からない事が多かったけど、お話が上手で野宿の旅は、やっぱり面白かった！」でした。色々と感じたり、考えたりしたこともあったでしょう。あまり詳しくは話してくれませんでした。生きる力になったら良いと思っています。反抗期ということもあり、家でも挨拶や返事ができなかつたり、片付けができなかつたりということが目に付き、度々注意しています。他にも時間にルーズだつたり、約束がまもれなかつたり…。「自分が良いんだから良いんだ。」と言い訳をしますが、やはり集団生活や社会ではルールがあるということを実感するためにも、日常とは違った今回の様な経験は大事だと思います。ありがとうございました。

熊野古道という場所、そして野宿の体験が出来るという事で、感性が豊かな今だからこそ感じられるものも多いと思い、子どもに紹介しました。良い経験をさせて頂き、ありがとうございました。

今は解らなくても、日本人としての文化に触れさせる為、世界文化遺産の熊野古道へ行かせようと思いました。語りべの方の話を伺いながら、先人に思いを馳せながら、現代に生きる我が身を振り返るきっかけにもなった事でしょう。この度もお世話になりました。二人とも、語りべの水本さんのお話や人柄に、楽しい旅だった様で、また行きたいと言っております。ありがとうございました。